

## 様式C-19

# 科学研究費補助金研究成果報告書

平成21年 5月 20日現在

研究種目：基盤研究（C）（一般）  
研究期間：2007～2008  
課題番号：19520157  
研究課題名（和文） 版本名所図会挿画の構造的検索情報の作成とそれによる近世文学風俗描写の文学的解明  
研究課題名（英文） A Study of Structural Search and Clarification of Illustrations in Pictorial Description of the Meisyo-zue  
研究代表者  
赤松 万里（AKAMATSU MARI）  
鳴門門教育大学・大学院学校教育研究科・教授  
研究者番号：60081171

### 研究成果の概要：

名所図会研究は、イコノグラフィー研究の一環として最近研究が活発になっている領域である。従来のイコノグラフィー研究は思想的政治的側面からの研究が主流であったが、たとえば日本記号学会(The Japanese Association for Semiotic Studies)、美術史学会(The Japan Art History Society)などにおいても風俗の小さな意匠に注目したり、また人物の細やかな表現を追求したりする新しい研究が行われている。

本研究は、そのような人物表現や小さな意匠など、文学における風俗研究に特化して 版本名所図会 挿画 を分析し、全パーツを再構築して リレーショナル・データベース を作成し、出版学・情報流通論を基礎にして、近世文学の風俗描写の文学的解明 を行うことを目的としたものである。

### 交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2007年度	2,200,000	660,000	2,860,000
2008年度	500,000	150,000	650,000
総計	2,700,000	810,000	3,510,000

### 研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・日本文学

キーワード：近世文学・版本・名所図会・イコノグラフィ・風俗描写・リレーショナルデータベース・構造的検索

#### 1. 研究開始当初の背景

研究代表者は今日まで『大阪の名所図会を読む』(宗政五十緒・柳瀬(赤松)万里他著・東京堂出版・pp.1-220・2000)、『金毘羅参詣名所図会』(版本地誌体系19)(柳瀬(赤松)万里

・臨川書店・pp.1-525・1998)、『撰津名所図会』(版本地誌体系10)(柳瀬(赤松)万里・臨川書店・pp.1-608・1996)、「モチーフ・インデックス『阿波名所図会』の挿し絵―〈その(1)人物画〉―」(柳瀬(赤松)万里・板東則子・『鳴門教育大学 学校教育実践センター紀要・

15・2000)をはじめ、版本名所図会研究に取り組んできた。

それらの研究を通して名所図会研究は、同時代の書物に比べて、大量の挿し絵を含むという特殊な形態から、マルチメディアデータが扱えるオブジェクト指向 リレーショナル・データベースを用いるのに最適な資料であり、それを基盤にした研究上での有効性が今後期待できる領域でもあることを理解し、本研究領域の開拓に至った。

## 2. 研究の目的

本研究により、精度の高いデータベースの作成とシステムの構築が可能になるので、それらを用いて、近世文学の風俗描写の文学的解明（研究成果Ⅱ）を行う。近世における名所図会と社会とが、文学を媒介して、いかに相互に関連づけられていたかを分析・考察する。近世の文学研究において、風俗・地域は重要なキーワードであり、風俗・地域・文学を関連づけた研究に、本研究は寄与するところが多大であると考えられる。

研究代表者は平成15年度科学研究費「版本名所図会 挿画の構造的検索による文学的意味の解明の研究」の採択により、かなりの程度研究を進め、一定の成果を公表しつつあるとともに、データを蓄積している。本年度はすでに作成したデータの完成度を高めるために不完全な部分の補完を行った。

## 3. 研究の方法

版本名所図会 挿画について、デジタル情報を作成するために、挿画を丁ごとにデジタルカメラで取り込む。調査などで収集した資料の分類を行った後、版本名所図会 挿画データベース化について検討した。版本名所図会 挿画やテキストの検索の基礎となるテーブルや風俗描写の記述に有効なリレーションの構造を中心に、研究協力者の協力を得てデータベースの設計を行った。収集資料をデータベースに収録するために、索引などを付与した画像データ化を行った。

なお市販されている名所図会データベースの中には、挿画に描かれる人物や物などに対して一部検索できる情報が付加されているものもあるが、項目の説明のみに終始しているため、まったく不十分であった。

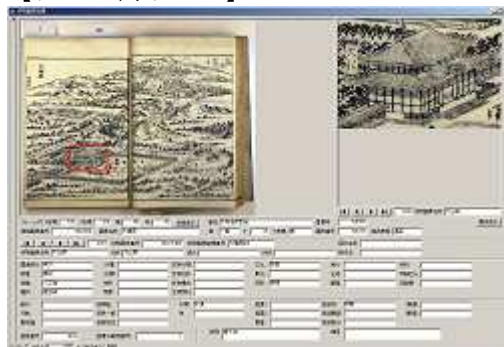
これらの、細部に分割した索引を作成するには、テキスト検索の基礎となるテーブルや風俗描写の記述に有効なリレーションの構造を中心にリレーショナル・データベース の設計・作成を行ってきたが、切り取ったモチーフに名称を付与した。

## 4. 研究の成果

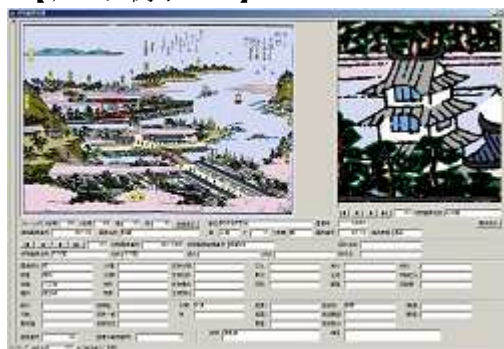
研究代表者が作成したデータの一例を以下の「リレーショナル・データベース 画像」に掲出する。もとの版本に彩色は施されていない。

「リレーショナル・データベース 画像」

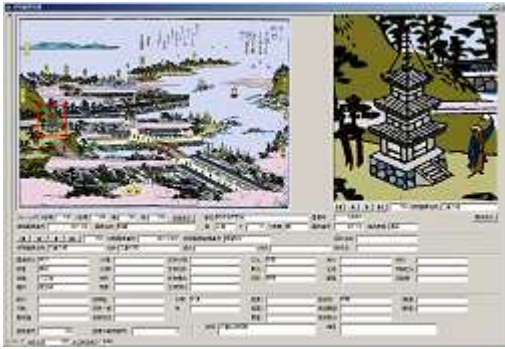
### 【データ例示 1】



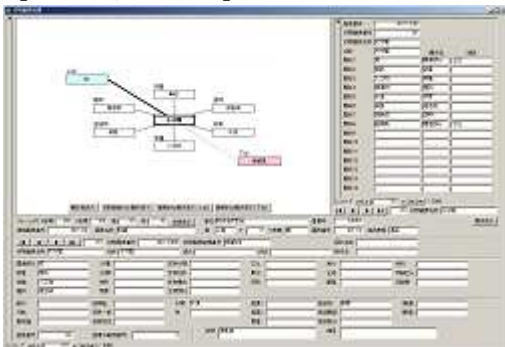
### 【データ例示 2】



### 【データ例示 3】



【データ例示 4】



上掲の【データ例示 1】は『大和名所図会』、【データ例示 2】【データ例示 3】は『阿波名所図会』 【データ例示 4】は切り取り画像の関係図である。

これらのリレーショナル・データベースを作成に際して、次のような機序に留意した。

- ①名称確定の論理性,
- ②切り取り座標軸の設定,
- ③データベースの階層の深化に伴うカテゴリーの論理性,

④風俗・文化・地域など周辺資料の検討,  
これらを通して、より精度の高いシステム リレーショナル・データベース を構築した。

本研究により、精度の高いデータベースの作成とシステムの構築が可能になったので、それらを用いて、近世文学の風俗描写の文学的解明に着手できた。近世の文学研究において、風俗・地域は重要なキーワードであり、風俗・地域・文学を関連づけた研究に、本研究は寄与するところが多大であると考えられる。

## 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔図書〕 (計 1 件)

柳瀬万里 (赤松万里) 著・教育開発研究所刊・中村哲編集『伝統や文化に関する教育の充実—その方策と実践事例』2009 年 7 月 8 頁

〔成果発表〕

展示「名所図会と徳島—『阿波名所図会』を楽しむ」平成 21 年 5 月 7 日～6 月 3 日  
鳴門市立図書館 赤松万里展示監修

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

赤松万里 (AKAMATSU MARI)  
鳴門教育大学・大学院学校教育研究科・教授  
研究者番号：60081171

### (2) 研究分担者

なし

### (3) 連携研究者

石内久次・生越日佐・西森美佳・北田洋介・川村量子・甲斐誠・横川唯・石田みらい